



令和8年度 鹿嶋市教育行政運営方針



鹿嶋市公認
マスコットキャラクター
ナスカちゃん

鹿嶋市教育委員会

令和8年度教育行政運営上の基本的な考え方と運営方針(主要事業)

第Ⅲ期鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策)		教育行政運営方針 (重点施策)	関連事業No.と 事業名	予算額 (千円)	所管課
1 子どもたちが自ら学び考える学校教育の推進	1 確かな学力を育む質の高い授業の推進	児童生徒の学力向上(1-1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力等の育成や学習意欲の向上のため、国語、算数・数学、英語の授業改善に取り組み、教員の指導力向上を図ります。また、中学校区単位で小中一貫教育を推進し、9年間の連続した学びを実現することで児童生徒の学力向上を図ります。 ■国語、算数・数学、英語授業改善プロジェクトの実施 ■よむYOMUワークシートの活用(小4~中3) ■算数・数学科における習熟度別学習の推進 ■英語能力判定テスト(英検IBA)の実施 ■外国語指導助手(ALT)15名の配置 ■小学生イングリッシュラウンジ(英会話教室)やイングリッシュアーバンキャンプの実施 ■きめ細かな指導を推進する教員の配置	1063国語・算数指導事業経費 1043英語指導事業経費 2187学務事務経費 9333市費負担教職員給与費	2,034 102,403 22,822 7,355	教育指導課
		ICT教育の推進(1-1) 児童生徒の主体的で協働的な学びをデザインし、変化の激しい時代を生き抜くための創造性を育む教育を推進します。また、ICT教育を効果的に進めるために、教員の指導力向上を図り、ICT活用リーダーを中心とした各校内での実践的な研修を通して、教員や児童生徒が一体となってICTを活用した学びを深めることを目指します。 ■情報授業改善プロジェクトの実施 ■1人1台端末や大型電子黒板を効果的に活用した授業 ■デジタル教科書の活用 ■スクールAIの活用	5303教職員指導対策費 5309小学校教育振興支援事業 5314中学校教育振興支援事業	57,339 160,706 56,193	教育指導課
		小学校への円滑な接続を見据えた幼児教育の充実(1-2) 幼児期の教育と児童期の教育を円滑に接続し、系統的な教育が全市的に行われるよう、架け橋期カリキュラムを実践していきます。また、幼児教育アドバイザーを活用し、専門性をいかした指導や支援を行います。 ■架け橋期カリキュラムの実践 ■幼児教育アドバイザーによる幼児教育施設訪問 ■幼児教育施設職員を対象とした研修会の開催 ■就学前児童の保護者や幼児教育施設に対する相談体制の充実	2187学務事務経費 5305教育センター活動経費	22,822(再掲) 40,564	教育指導課
		安全安心な給食の提供と食育活動の実践(1-4)(3-1) 食で育む健康な体、豊かな心を養うことを目指し、専門的な視点から食育や栄養指導に取り組みます。また、地産地消を推進し、郷土愛の醸成を図ります。また、施設管理を適切に実施し、安全安心な給食の提供に努めます。 ■栄養教諭訪問による食育及び栄養指導 ■県産食材の使用 ■施設・設備の適切な維持管理 ・食器購入 ・ガス式フライヤー更新 ・高圧電気設備補修	3253学校給食センター経費	589,223	学校給食センター 総務課
		社会教育の推進(2-1) 様々な学習機会の提供と学びへのきっかけづくりを通して、多くの市民が様々な社会教育活動に参加、活動できる取り組みを推進します。また、市民の生涯学習・自己実現に資するとともに、地域のつながり・絆を強化することで、社会教育を活用した地域づくりを推進していきます。 ■学校支援ボランティアの活用 ■まちづくり出前講座の開催 ■てら祭(中央公民館まつり)の開催 ■市民カレッジ等(公民館学級講座)の開講 ■公民館研究集会の開催 ■官民パートナーシップによる社会教育の推進 ■かしま灘楽習塾や社会教育活動団体等への支援	5320生涯学習推進事業費 5327青少年育成対策経費 5352公民館活動費	4,438 10,378 10,497	中央公民館課
2 た 人 生 の 1 0 年 代 の 推 進 を 生 活 する	1 学び続ける力を育む生涯学習環境の充実				

第Ⅲ期鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策)		教育行政運営方針 (重点施策)	関連事業No.と 事業名	予算額 (千円)	所管課
2 人生100年時代を生きるための社会教育の推進	2 知的基盤としての図書館機能の強化と読書支援	知的基盤としての図書館機能の強化と読書支援(2-2) 市民に資料・情報を提供する知的拠点としての役割を担うため、多様な利用者のニーズに応えられるよう、従来型の図書館サービスと電子図書館を組み合わせたハイブリッド型のサービスを提供します。また、地域の図書館として郷土資料を収集・保存するとともに、デジタル化による公開を進め、郷土資料にアクセスしやすい環境を整備します。 学校図書館については、公共図書館との人事交流や合同研修等を通じて司書の専門性を高め、児童生徒に対する学習支援と教員に対する授業支援の機能強化を図ります。 子どもの読書活動推進にあたっては、読書に親しむ機会の充実・読書環境の整備・普及啓発活動の3つを柱に、子どもたちが自然に本と触れ合い、読書習慣が日常生活に根付くよう取り組みます。 ■資料(電子コンテンツを含む)の収集・提供 ■郷土資料を活用した郷土学習の推進 ■人事交流や研修等による司書の人材育成 ■学校図書館と公共図書館が連携した子どもの読書活動推進	3123図書館運営経費 3251図書館管理経費 5341学校図書館経費(小学校) 5342学校図書館経費(中学校)	81,611 15,697 50,628 1,154	中央図書館
	3 郷土の歴史・文化にふれる学びと保存・継承の推進	鹿嶋市の伝統文化と歴史資産の保全と継承(2-3) 歴史資産については、指定文化財管理者に修理等における補助金を交付し、適切に保存・管理が行えるよう支援します。また、市内の文化財資料について適切な保存・管理などの基準を明確化し、それに基づいたデジタルアーカイブを進め、今まで常時公開ができなかった文化財をデジタルで常時公開することにより、さらに幅広く、様々な手法で、郷土の歴史や風土について学ぶ機会を創出します。 ■資料の保存管理基準の制定 ■資料のデータベース化とデジタルアーカイブの推進 ■「マンガ かしまの歴史」の発行 ■どきどきセンターとミニ博物館「ココシカ」の運営 ■市内遺跡発掘調査 ■国史跡指定40周年記念シンポジウムの開催	2191文化財保護経費 3249埋蔵文化財保管施設管理費 5324埋蔵文化財発掘調査経費 8307神野向遺跡保存事業	17,586 31,322 7,895 190	社会教育課
	4 誰もが参加できるスポーツ活動と地域スポーツを支える人材の育成	持続可能なスポーツ推進体制の構築(2-4) いつでも・どこでも・誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツを推進するため、スポーツ団体や企業等と連携し、スポーツ、健康づくり事業の充実や交流促進を図ります。また、市民スポーツを支える各スポーツ団体を支援するとともに、スポーツ指導者の育成等を図ります。 ■各種スポーツイベントの開催 ■公民連携事業の推進 ■鹿島アントラーズ、かしまスポーツクラブと連携したスポーツ施設等の活用促進 ■市民スポーツ団体等への支援 ■スポーツ講演会、指導者講座等の開催 ■ホームページ「かしま SPORTS NAVI」の運用 ■部活動(運動部)地域展開にかかる活動団体への支援	5339社会体育振興事業 3256体育施設管理費	14,346 283,998	スポーツ推進課
	5 文化芸術に親しみ、表現できる環境の充実	文化芸術の振興(2-5) 文化芸術分野において関係団体と連携して創作品の展示や活動の発表の場を提供し、その意欲を高めるとともに情報を幅広く発信することで、若い世代が文化芸術に触れる機会の創出に取り組みます。 ■伝統文化親子教室の開催 ■美術展覧会や芸術祭の開催 ■鹿嶋市文化協会との連携強化 ■部活動(文化部)の地域展開にかかる活動団体への支援	5321文化事業 5352公民館活動費	3,274 10,497(再掲)	中央社会教育館課
	6 体験と学びを通じた青少年の健全育成	子育て家庭への教育支援(2-7) 訪問型家庭教育支援を通じて子育て世代の困り感に寄り添い、家庭や子どもを地域で支える仕組みづくりを推進します。 ■家庭教育支援チームによる対象家庭への訪問や困りごとに応じた支援(訪問型家庭教育支援) ■子育て講演会とメディア講習会の開催	5329家庭教育力向上推進事業	1,024	社会教育課

第Ⅲ期鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策)		教育行政運営方針 (重点施策)	関連事業No.と 事業名	予算額 (千円)	所管課	
2 人生100年時代を生きるための社会教育の推進	8地域で育て、地域に関わる人づくりの推進	地区公民館における地域づくり事業の充実(2-8) 地区公民館を拠点とした住民主体の地域づくり事業を推進し、幅広い世代の住民が「つとてい・学び・つながる」機会を提供することにより、地域コミュニティの活性化を図ります。 また、地域や学校と連携しながら、子どもとその家族が参加しやすい事業を展開し、若い世代の地域参加を促進するとともに、地域ぐるみで青少年の健全育成に取り組めます。 ■住民主体による地区まちづくり委員会事業及び連絡協議会事業の推進 ■地域課題の共有化、課題解決に向けた研修会や事業の開催 ■地区公民館まつり等の開催と中学生ボランティア等の参加促進 ■子ども体験型事業や親子参加型事業の実施 ■社会教育による市民の健康増進・地域防災・地域福祉活動等の促進 ■地域コミュニティプラン(特色ある地域づくり)の推進	5352公民館活動費	10,497 (再掲)	中央公民館	
		安全で健やかな居場所づくり(放課後子ども総合プラン)(2-8) 放課後児童クラブにおいて、保護者が仕事などで昼間家庭にいない小学校児童に対して、放課後の適切な遊びや生活の場を提供し指導・援助を行い、子どもたちを心身ともに健やかに育てていきます。 また、放課後子ども教室は、平日の部は、授業終了後の安心な居場所づくりと安全な下校を目的として開設し、休日の部は、地域の人との交流やさまざまな体験活動を行うことを目的として開催します。 ■放課後児童クラブ 市内全12小学校 37クラブ ■放課後子ども教室(平日の部) 市内11小学校 11教室 ■放課後子ども教室(休日の部) 市内10地区公民館 10教室	5155放課後児童健全育成事業 5327青少年育成対策経費	288,043 10,378 (再掲)		社会教育課
3 学びを支える教育環境の向上	1誰もが安心して学べる教育施設・環境の整備	教育施設の計画的な整備(3-1)(3-2) 安全、安心、快適な教育施設をめざし「鹿嶋市公共施設等総合管理計画」「鹿嶋市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的に施設整備を推進します。 ■小学校・中学校担当維持補修工事 ■大同東小学校キュービクル更新工事 ■豊郷小学校・鹿野中学校受信機更新工事 ■高松緑地公園プール解体工事	3246小学校施設管理費	114,153	教育施設課	
			3247中学校施設管理費	32,062		
	3256体育施設管理費	283,998 (再掲)				
	2地域と連携した特色ある学校づくりの推進	3教職員の資質向上と業務改善の両立	教育DXの推進と働き方改革(3-1)(3-3)(3-5) 1人1台端末の更新や高速・大容量に対応したネットワークを構築し、児童生徒の学習環境向上を図ります。また、デジタル技術を活用し、校務の効率化や業務の見直し、支援員の活用等を通して、教職員が児童生徒と向き合う時間や授業の準備時間を確保するとともに、健康でやりがいを持てるよう環境を整えます。 ■1人1台端末の更新と管理 ■GIGAネットワーク改良工事 ■ICT支援員の派遣 ■配慮が必要な児童生徒を支援する職員の配置(アシスタントティーチャー、看護嘱託職員、校内教育支援センター職員) ■学校における部活動指導体制の充実(部活動指導員) ■業務量管理・健康確保措置実施計画の進捗管理	5303教職員指導対策費	57,339 (再掲)	総務就学課
				5309小学校教育振興支援事業	160,706 (再掲)	
	5314中学校教育振興支援事業	56,193 (再掲)				
5教育活動を支える人的・制度的基盤の強化	6子育て支援と入園体制の充実	学校規模適正化の推進(3-2) 令和7年12月に策定した学校規模適正化実施計画(豊津小学校・中野西小学校編)に基づき、中野西小学校と豊津小学校の学校規模の適正化を着実に進め、子どもたちが多様な仲間と関わり合い、協働的に学ぶ環境を確保します。 ■中野西小学校の大同西小学校への編入 ■豊津小学校の編入に向けた準備 ■市内小中学校の今後の適正化の検討	2186教育総務事務経費	15,332	総務就学課	

第Ⅲ期鹿嶋市教育振興基本計画 (基本方針・主要施策)		教育行政運営方針 (重点施策)	関連事業No.と 事業名	予算額 (千円)	所管課	
3 学 び を 支 え る 教 育 環 境 の 向 上	1 誰もが安心して学べる教育 施設・環境の整備	地域に根差したコミュニティスクールの推進(3-2) 学校・保護者・地域住民がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協力しながら児童生徒の豊かな成長を支える仕組みを構築します。学校と地域が目標やビジョンを共有し「地域とともにある学校づくり」をより一層推進します。 ■学校運営協議会の開催 各校4回程度 ■学校・地域コーディネーター研修会の開催 2回程度	5320生涯学習推進事業費	4,438 (再掲)	社会 教育 課	
		多様な育ちを支える専門的支援と相談体制の充実(3-4) 専門スタッフによる効果的な学校(園)の支援体制の確立、教職員研修・研究の充実、児童生徒の不登校、長期欠席対策の支援、教育情報の発信と教育関係資料の収集などを通して、児童生徒、保護者、教職員を総合的、専門的に支援します。 ■教育指導員、就学相談員、適応指導教室相談員の配置 ■教職員向け研修の実施 ■訪問、来所による就学相談、教育相談の実施 ■適応指導教室「ゆうゆう広場」において、不登校児童生徒の自立に向けた支援	5305教育センター活動経費 3273教育センター管理費	40,564 (再掲) 4,925	教育 指導 課	
	2地域と連携した特色ある学校づくりの推進	学びを支える経済的支援制度の充実(3-5) 経済的理由により修学に困難がある優れた生徒、学生に対し、無利子で奨学金を貸与することで、社会の発展に寄与しうる有為な人材の育成を図りつつ、安定的な運営の上でより魅力的な学生支援につながるよう先行事例等、調査、研究していきます。(高塚奨学金) また、教育の機会均等の観点から、経済的に困窮している世帯に対して、児童生徒が円滑に義務教育を受けられるよう支援します。(就学援助制度) ■奨学金の運用 貸与予定者 70人 貸与予定額 25,080千円 返還予定者 197人 (令和8年2月末日現在) ■要保護・準要保護・被災・特別支援児童生徒への就学援助	2186教育総務事務経費 5310要保護及び準要保護児童就学奨励費(小) 5315要保護及び準要保護生徒就学奨励費(中) 高塚奨学金基金	15,332 (再掲) 7,554 13,956	総 務 就 学 課	
	3教職員の資質向上と業務改善の両立	地域子ども・子育て支援の充実(3-6) 仕事と子育ての両立を目指した総合的な子育て支援や多様化する保育ニーズに対応するため、私立の教育・保育施設が実施する地域子ども・子育て支援事業や保育体制の強化事業等に対し補助金を支給し、各種保育サービスの提供体制の充実を図ります。 また、幼稚園等による園庭開放や親子交流事業等により子育て家庭同士の交流の機会を創設します。 ■地域子ども・子育て支援事業の実施 延長保育事業、一時預かり事業、病児保育事業等 ■保育人材の確保などの幼児教育・保育体制の強化事業 保育体制強化事業、乳児等保育事業、障がい児保育事業、保育士雇用助成事業 ■公立幼稚園における未就園児ふれあい事業等の実施	5156特別保育・保育サービス支援事業 3120幼稚園管理運営事務費 5319子育て支援事業	102,275 47,075 16,431	幼 児 教 育 課	
	4子どもの多様な育ちに寄り添う支援と相談体制の整備	教育・保育施設への入園体制の整備と支援(3-6) 子ども・子育て支援法に基づき、良質かつ適切な幼児教育・保育環境を保障するとともに、子どもを養育する保護者等に必要の支援を行い、一人ひとりの子どもの心身の健やかな成長と安心して子育てできる環境を確保します。 ■入園に関する相談支援の充実 ■出生数や保育ニーズを踏まえた定員調整 ■公立教育・保育施設の管理運営 ■私立教育・保育施設等に対する教育・保育給付の支給 ■施設等利用給付の支給(幼稚園等の預かり保育や認可外保育施設等の利用料の一部助成) ■鹿嶋市公立幼稚園・保育施設再編方針に基づく施設の再編の推進	5159教育・保育施設入所支援事業 5188多子世帯保育料軽減事業 3105保育園運営経費 3110認定こども園運営経費 3120幼稚園管理運営事務費	1,999,245 6,305 72,441 68,511 47,075 (再掲)	幼 児 教 育 課	
	5教育活動を支える人的・制度的基盤の強化					
	6子育て支援と入園体制の充実					
	4 こ れ か ら の 時 代 を 生 き 抜 く 力 の 育 成	1 未来を切り拓く資質・能力の育成 2 優しい心、自己肯定感、挑戦する意欲の育成	これからの時代を生き抜く力の育成 基本方針1~3を通し、学校、家庭、地域が一体となって育みます。			

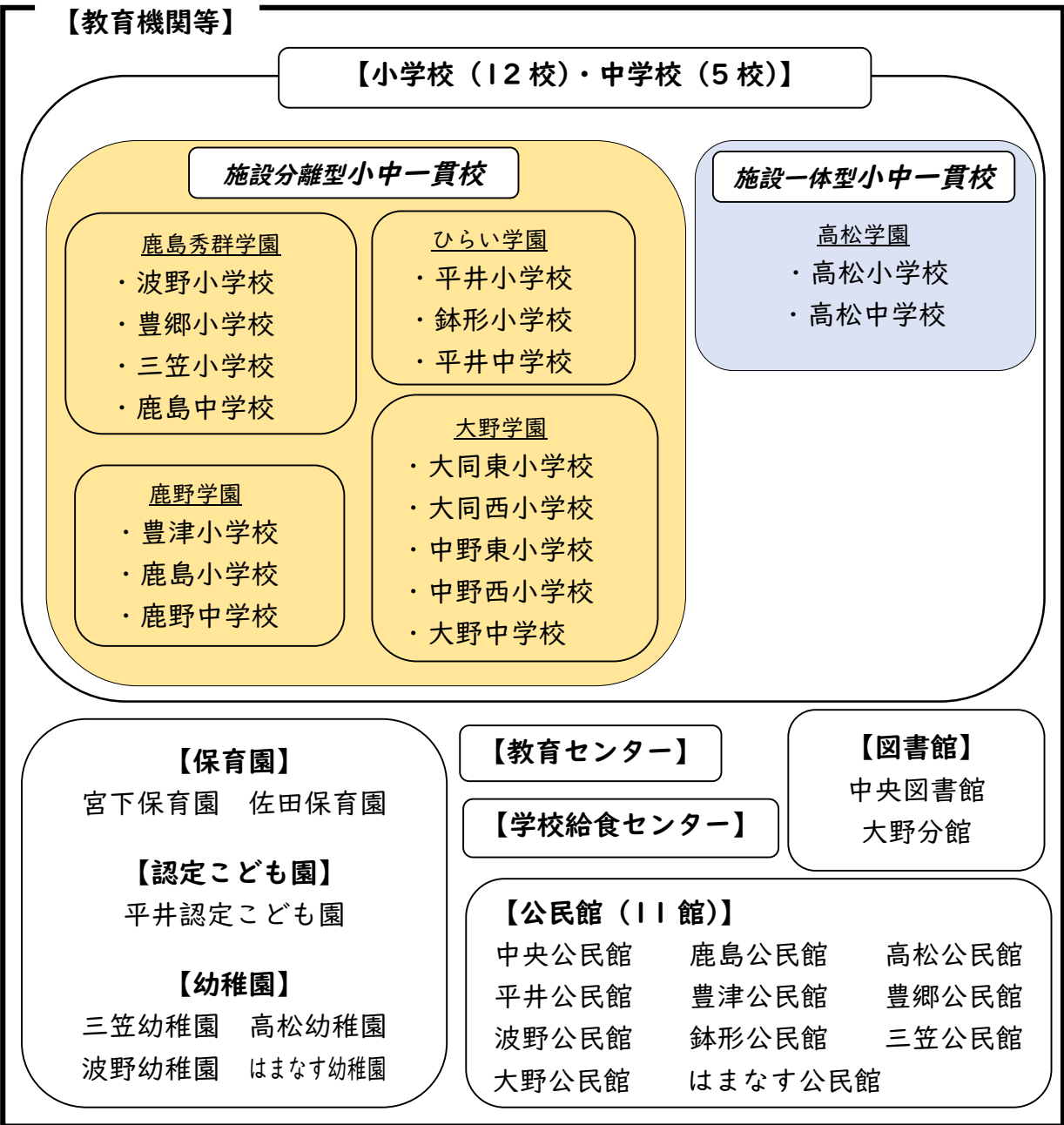
<参考資料> 令和8年4月1日現在

1 鹿嶋市教育委員会委員名簿

教育長	川村 等
委員（教育長職務代理者）	原 キミ
委員	大槻 啓子
委員	大崎 千帆
委員	岡田 淳

2 鹿嶋市教育委員会行政組織

【教育委員会事務局】		
総務就学課	幼児教育課	教育指導課
教育施設課	社会教育課	スポーツ推進課



3 鹿嶋市の教育行政の経緯

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
平成 15 年度	・社会教育やスポーツ振興などの生涯学習部門を補助執行するため、市長部局に市民協働部を新設
平成 16 年度	・鹿嶋市教育基本計画を策定（平成 16 年度～平成 26 年度）
平成 18 年度	・生涯学習塾「かしま灘楽習塾」が開校
平成 19 年度	・鹿嶋英語教育特区の認定を受ける ・専任の学校図書館司書を波野小学校に配置 ・新学校給食センターが稼働 ・学校教育課を鹿嶋っ子育成課へ名称変更 ・放課後こどもプランスタート
平成 20 年度	・小学校第 1 学年で少人数学級編成の実施 ・豊津小学校耐震化工事完了
平成 21 年度	・少人数学級編成を小学校 2 学年まで拡大 ・鹿嶋市教育基本計画を見直し、鹿嶋市教育基本計画を策定（後期 平成 21 年度～平成 26 年度） ・市独自に小学校専科担当非常勤講師を 2 名配置
平成 22 年度	・鹿島小，高松小，平井小，中野東小，鹿島中，鹿野中の 6 校が耐震工事を完了
平成 23 年度	・小一プロブレム対策のスタートカリキュラムが完成し，幼小中連携の取り組みがスタート ・三笠小，大同東小，大同西小，中野西小，高松中の 5 校が耐震工事を完了 ・高松小学校敷地内に高松幼稚園を新築
平成 24 年度	・専任の学校図書館司書を全小学校に配置し，学校図書館の整備が完了
平成 25 年度	・京都女子大教授指導の下で授業改善プロジェクトが鹿島小・大野中で開始 ・小学校にタブレットの導入（6 校） ・専任の図書館司書を中学校図書館として始めて高松中学校に配置
平成 26 年度	・小学校にタブレットの導入（6 校）※全小学校導入完了 ・平井認定こども園が開園
平成 27 年度	・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正（総合教育会議，教育長と教育委員長の統合等） ・教育総合会議の開催及び鹿嶋市教育大綱の策定（平成 28 年度～平成 33 年度） ・第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画策定（平成 28 年度～平成 37 年度） ・市長部局（市民協働部）にて補助執行していた社会教育やスポーツ振興な

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
	<ul style="list-style-type: none"> どの生涯学習部門を教育委員会事務局内に戻す。 ・改正前地方教育行政法に規定による教育長が辞任し、新教育委員会制度へ移行 ・教育センターを開設し、学校教育全般を支援する体制を構築 ・高松公民館改築工事完了
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 32 年度(鹿嶋市は 30 年度)小学校における英語必修化に向けた学級担任主体の英語授業への展開 ・鹿島小学校(北校舎・南校舎)及び鹿野中学校体育館の大規模改造事業 ・鹿嶋勤労文化会館大規模改修工事(A棟の外壁等工事) ・2019年茨城国体開催に向けサッカー場の整備 (北海浜多目的球技場：天然芝敷設 10,350 m² 駐車場 5,276 m²) ・学校支援ボランティア制度の事業開始
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前教育及び家庭教育の推進（家庭教育力向上推進協議会の開催と訪問型家庭教育支援事業の実施） ・電子図書館の開設 ・2019年茨城国体開催に向けた運営組織並びに会場を整備 (ト伝の郷運動公園：人工芝張替え約 40,000 m²，照明，観覧席等)
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> ・高松小学校と高松中学校において一貫教育がスタート ・オリンピック・パラリンピック教育推進事業（2か年）（中学校5校に対しオリパラ夢先生を派遣） ・2019年茨城国体開催に向け、高松緑地内の多目的球技場の改修及びクラブハウスの新設並びに高松緑地体育館を解体撤去する ・「いきいきゆめプール」（大野区域屋内温水プール）が完成
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会事務局組織改編（幼稚園・保育園の一元化を図り幼児教育課，教育施設課を新設，鹿嶋っ子育成課と総務就学課を統合し，総務就学課とする） ・いきいき茨城ゆめ国体を開催 (サッカー競技成年男子 16 試合，少年男子 24 試合) ・オリンピック・パラリンピック教育推進事業（小学校 12 校に対しオリパラ夢先生を派遣） ・小中学校全ての普通教室・図書室・PC 教室・保健室にエアコン設置完了 ・鹿嶋市公立幼稚園・保育施設再編方針の策定 ・「かしま子ども大学」開校 ・スポーツセンター大規模改修 I 期工事（屋根・電気設備・機械設備改修工事） ・市民センター改修工事（屋根・雨樋） ・鹿嶋勤労文化会館大規模改修工事（空調設備・トイレ） ・【新型コロナウイルス感染症】 全国一斉休校（3月6日～）

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・市内公立小中学校に1人1台ノートパソコンの配置 ・各小中学校普通教室，特別支援教室に大型電子黒板の設置 ・市立小中学校にG I G Aスクール構想に基づく高速大容量の学校内無線LAN工事 ・「第Ⅱ期鹿嶋市教育振興基本計画」後期見直し ・鹿嶋中学校大規模改造工事 ・はまなす公民館大規模改修工事 ・【新型コロナウイルス感染症】 通常登校・通常保育（6月8日～）
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ・2020東京オリンピック サッカー競技開催，市内小中学生観戦 ①7月22日 ニュージーランドvs韓国（男子サッカー） ②7月25日 ニュージーランドvsホンジュラス（男子サッカー） ③7月27日 オーストラリアvsアメリカ（女子サッカー） ・鹿嶋アントラース協力による英語教材動画「鹿嶋市TPR」の作成 ・中野東小学校大規模改造工事 ・第3次鹿嶋市スポーツ推進計画の策定（令和4年度～令和13年度） ・鹿嶋市教育大綱の改定（令和4年4月～）
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・在ホンジュラス日本国大使館特命全権大使による学校訪問 ・高松小学校施設の一体化を伴う高松中学校大規模改造工事 ・スポーツセンター大規模改修Ⅱ期工事（屋根改修工事） ・小中学校支援連絡協議会を学校運営協議会に改め，市立小中学校全ての学校でコミュニティスクールがスタート ・みんなのスポーツフェスタ（毎月第4土曜日の開催）※市長賞受賞 ・図書館と公民館のフリーWi-Fiサービスの開始 ・スマートフォンを利用した図書利用カードの開始
令和5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生通学用かばんのリニューアル（令和4年度※市長賞受賞） ・プログラミングソフト教材の導入（中学1年生～中学3年生） ・高松小学校と高松中学校が施設一体型小中一貫教育をスタート ・高松小中学校の学校図書館を地域開放 ・教育委員会，市立小中学校において校務支援システム稼働 ・鹿嶋市公立幼稚園・保育施設再編方針の見直し ・スポーツセンター大規模改修Ⅱ期工事（屋根改修工事）【R4 繰越】 ・「かしま子どもプレ大学」開校 ・市指定文化財の指定 「岩偶」「土偶」「石棒」「子持勾玉」 ・鹿嶋市家庭教育支援チームが「文部科学大臣賞」を受賞 ・【新型コロナウイルス感染症】 5類感染症へ移行（5月8日～）
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> ・鹿嶋市教育大綱の改訂（令和7年2月） ・鹿嶋市学校規模適正化基準を策定 ・市立小中学校が3学期制から2学期制へ移行 ・部活動の地域展開がスタート ・ラーケーションの導入

年 度	教 育 行 政 の 経 緯
	<ul style="list-style-type: none"> ・「よむ YOMU ワークシート」を導入（小学4年生～中学3年生） ・社会科副読本「かしま」をデジタル版で導入 ・「メルカリ Shops」を活用し，市不用品の販売を開始 ・平井公民館大規模改修工事 ・鹿嶋勤労文化会館のネーミングライツパートナーが決定し，愛称が「高正 U&I センターホール」（令和6年5月～令和11年3月）となる ・「スポーツ・健康まちづくり優良自治体表彰 2024」でフットゴルフの普及促進や新たなコミュニティ形成への取り組みが評価され，優良自治体賞を受賞。 ・大船津保育園が閉園・高松緑地温水プールが閉館。
令和7年度	<ul style="list-style-type: none"> ・フィリピン ダナオ市との姉妹協定による ALT の配置 ・校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム）の設置 ・市立小中学校に教育用生成 AI の本格導入（小学5年生～中学3年生） ・市立小中学校において施設分離型小中一貫教育が本格始動，学園名の命名 ・子ども誰でも通園制度の試行的実施 ・中央図書館開館40周年 ・学校規模適正化実施計画（豊津小学校・中野西小学校編）の策定 ・第Ⅲ期鹿嶋市教育振興基本計画（令和8年度～令和17年度）の策定 ・第2次図書館基本計画（令和8年度～令和17年度）の策定 ・子ども読書推進計画の策定



鹿嶋市教育委員会総務就学課

TEL : 0299-82-2911

Mail : kyouikusoumu2@city.ibaraki-kashima.lg.jp